



| | |
|--------------|---|
| Title | 伝染病予防について |
| Author(s) | 上嶋, 勲 |
| Citation | makoto. 1973, 3, p. 2-2 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://doi.org/10.18910/86269 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

伝染病予防について

大阪府衛生部環境保健課長

上 嶋 勲

私たち人間の病気には、いろいろの種類がありますが、とりわけ、伝染病は、病原体が人体に侵入し発病するといった点で他の病気とはちがった特徴を持っています。

しかも、多くの伝染病は、病原体がそれぞれ異なり、からだに侵入する経路も多様で、病気の

場合によっては健康保菌者のように全く出ないものもありますので、予防や治療にあたっては個々の伝染病に適した方法が講じられなくてはならないのです。

しかし、全体を通して、伝染病を予防する方法としては、次の三つの原則、つまり、

1. 感染源対策
2. 感染経路対策
3. 感受性者対策

があげられます。

1. 感染源対策
感染源対策とは、伝染病の病原体のいるところを押え、病原体をやっつけることです。

病原体は、ふつう原虫や細菌、リケッチアおよびウイルスといわれる目に見えないくらい小さな微生物で、患者や保菌者あるいは動物や植物、場合によっては土の中にも生活しており、人間のからだに侵入するチャンス

をねらっています。従って、この対策には、いち早く病原体の存在を確認する必要があります。赤痢や腸チフスの疑いのある時、検便するのはこのためです。また病原体を持っている患者や保菌者、それに場合によっては、病原体をうつされたと思われる接触者を他の健康な人から隔離するのもこの対策にほかならないのです。

そのほか、病原体でよごれた水、食物、手ぬぐい、チリ紙、食器、衣類、寝具および、おもちゃなども感染源となりますので、煮沸や焼却、殺菌消毒することが予防方法となります。そのほか、最近の天然痘騒ぎのように海外からの入国者に対して

して空港や港で検疫を強化されているのもこの感染源発見を早める対策の一つであるのです。

2. 感染経路対策
感染経路対策とは、病原体が人体に侵入するいろいろの道すじを絶つことです。病原体を持った人と直接話し合うのをやめることは、くしゃみやせきによる飛沫感染を防ぐことになります。また、外出後のうがいや食事前の手洗いは、ほこりに附着した病原体を口から体内に侵入するのを防ぎます。また、日本脳炎やマラリア予防のための蚊の撲滅や消化器伝染

予防のためのハエ・ゴキブリおよびネズミの駆除、それにベストに対するノミ、発疹チフスに対するシラミ退治も昆虫や動物を介しての感染経路切断の有効な方法であります。そのほか、水道水の滅菌、牛乳の殺菌、汚染器物の消毒や家屋の清掃およびドブさらえも直接的に感染経路対策となっ

ているのです。3. 感受性者対策
感受性者対策とは、病原体の侵入を受ける人間の側の対策を意味します。しかし一度かかると一生のうち二度とかわらないといわれます。このように二度とかわらなくなる抵抗力を持つことを免疫性を獲得したといえます。しかし、病気にかかってから免疫性を持つようでは余りにも人間が哀れです。従って、ある種の伝染病のように人工的に病毒性を殺したり、弱めたりしたものを病気にかかる前に人体に接種して抵抗力を高める方法があるのです。これが、予防接種で、天然痘に対する種痘や、ジフテリア・百日咳・破傷風などにに対する三混ワクチンの予防接種がそれです。



(数字パズル)

マルの中に1から6までの数字を入れて、四本の直線上の和をすべて等しくしたい。上図の例では頂上を1(和を10)にしているが、頂上を1以外の数字にしたものが、もう一つだけ可能。それを見つけて下さい。もちろん和も10でなくります。(クイズの雑学博士より)

